

アルフォンス・ミュシャ展 麗しきアール・ヌーヴォー

アルフォンス ミュシャ展

—— 麗しきアール・ヌーヴォー ——

2017 7.15^{Sat} - 9.24^{Sun}

1.



2.

1. 《桜草》 1899 年 リトグラフ OGATA コレクション

2. 《羽根》 1899 年 リトグラフ OGATA コレクション

公益財団法人佐川美術館（所在地：滋賀県守山市）では、2017 年夏季企画展「アルフォンス・ミュシャ展 麗しきアール・ヌーヴォー」を開催いたします。19 世紀末のヨーロッパで流行した芸術運動「アール・ヌーヴォー」の旗手として、美術史にその名を残したアルフォンス・ミュシャ（1860－1939）。色とりどりの植物に囲まれ、きらびやかな装飾品を身につけた女性像に代表される彼のグラフィック・デザインは、絶大な人気とともに多くの人を魅了してきました。本展では、ミュシャの名を世に知らしめたパリ時代のポスターやリトグラフの代表作に加え、デザインに関するアイデアを集約した図案集や書籍の挿絵、切手や紙幣、商品パッケージ等を一挙に紹介します。また、祖国・チェコへ帰国後に手掛けた絵画作品と併せてご覧いただくことで、芸術家・ミュシャの生涯とその思想の全体像に迫ります。

展覧会実施概要

- ◆開館時間：午前9時30分 ～ 午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◆休館日：月曜日（祝日の場合は翌火曜日）、9月12日（火）～14日（木） ※ ただし8月14日（月）は開館
- ◆入館料：一般¥1,000（¥800）／ 高大生¥600（¥400）（ ）内は20名以上の割引料金
中学生以下は無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方（手帳をご提示ください）、付添者（1名のみ）無料
- ◆主催：公益財団法人佐川美術館 ◆展示協力：OZAWA コレクション、OGATA コレクション
- ◆後援：チェコ共和国大使館、チェコセンター、滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
- ◆企画協力：株式会社文化企画 ◆協力：SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

■アルフォンス・ミュシャについて



1860 年、モラヴィア（現在のチェコ）生まれ。壁画制作や肖像画を描く仕事に従事し、1888 年パリへ渡仏。雑誌や書籍の挿絵、舞台衣装のデザインを手掛け生計を立てていたミュシャに、1894 年転機が訪れます。当時のフランスを象徴する大女優サラ・ベルナールが主演する演劇『ジスモンダ』（P3 参照）のポスターを手掛け、大好評を得ます。一躍時代の寵児となったミュシャは、以降数々の作品を精力的に制作します。なかでも流れるような曲線美ときらびやかな装飾で彩られた女性像の作品は「ミュシャ・スタイル」として多くの支持を集めました。1910 年、チェコへ帰国後は、国家行事のポスターや紙幣、切手などのデザインを無償で手掛け、祖国の発展のために尽力します。自身のルーツであるスラヴ民族をテーマに、晩年の 18 年間で捧げた絵画作品《スラヴ叙事詩》を制作後、1939 年にプラハの地にて生涯を閉じました。

■アール・ヌーヴォーとは？

19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、フランスとベルギーを中心に広まった芸術様式のこと。仏語で「新しい芸術」という意味。代表的な芸術家には、ミュシャの他にエミール・ガレ、ルネ・ラリックなど。アール・ヌーヴォーは、植物など有機的な自然物をモチーフとして作品に取り入れ、鮮やかな色使いと流れるような曲線、アシンメトリー（左右非対称）なレイアウト、自由な平面構成が特徴であり、それらは浮世絵をはじめとするジャポニスムの影響を受けていると言われています。また、アール・ヌーヴォーの作品は日本に逆輸入される形で紹介され、明治時代の文学雑誌『明星』では、ミュシャ作品の影響を受けた挿絵が多く登場します。



3. 《黄道十二宮 ラ・プリム誌のカレンダー》
1896 年 リトグラフ OZAWA コレクション

■チェコ文化年 2017 公式イベント



チェコ文化年 2017 シンボルマーク

チェコと日本が国交回復をして 60 周年を迎える 2017 年は、日本でチェコ文化を広めるためのプロジェクト「チェコ文化年 2017」と題し、日本の各地で様々なチェコの文化イベントが開催されます。本展は、当プロジェクトの公式イベントとして、チェコ出身であるミュシャの芸術の全容を紹介します。

アルフォンス・ミュシャ展 麗しきアール・ヌーヴォー

みどころ

■出世作《ジスモンダ》をはじめ、人気の高い華麗な ポスターと装飾パネルを一挙紹介！

ミュシャを一躍時代の寵児にした出世作として有名な作品《ジスモンダ》をはじめ、数々の商業ポスターや、当時一般市民の間で大流行した連作の装飾パネルを紹介します。《ジスモンダ》は縦 213.0cm×横 75.0cm の大作で、女優サラ・ベルナールが主演する舞台告知ポスターとして、当時のパリの街中に貼りだされました。ほぼ等身大に近く、繊細な色彩にもかかわらずドラマチックなこの作品は、人々にサラの名前と演劇タイトル、劇場名を記憶させ、インパクトを与えました。その人気ぶりは絶大で、中には夜中に剃刀を使って広告板から取り外す人もいたほどだとか。

4. 《ジスモンダ》

1895 年 リトグラフ OGATA コレクション



■ミュシャ・スタイルの原点は挿絵にあり？



ミュシャの名が世間に知れ渡る前、書籍や雑誌での挿絵の仕事が、彼の生計のメインでした。その仕事で培われた描写力やデザイン力が、後のミュシャの功績に繋がったといえます。名声を手にしてから以降も、本の表紙や挿絵の仕事は生涯に亘り継続されました。今回ご紹介するこれらの作品は、日本ではあまり紹介されていない作品も多く、ミュシャの功績を図り知ることができるといえます。芸術家・ミュシャのデザイン力には、ミュシャを初めて見る人もミュシャファンの人も、思わず目を見張ること間違いありません。

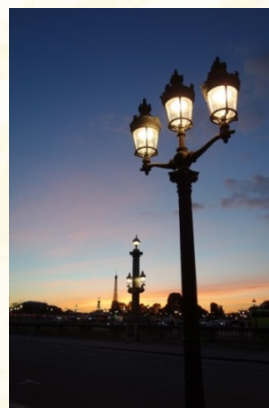
5. 《ココリコ》

1902 年 リトグラフ OGATA コレクション

■当時のフランス、パリの雰囲気を感じられる展示空間

展示室の中には、人気のミュシャ作品が窓飾りとしてスタンドグラス風にデザインされるサロン空間が誕生します。穏やかなクラシック音楽とともに、優雅な時間を過ごしていただくことができます。また、ヨーロッパの街並を彷彿とさせるようなアーチ型の門や街灯の下で作品をご鑑賞いただくコーナーもあり、当時のパリの雰囲気を感じながら「ミュシャ・スタイル」の真髄を味わうことができるスポットになっています。

※写真はイメージです。



アルフォンス・ミュシャ展 麗しきアール・ヌーヴォー

イベント

展覧会開催を記念して、下記イベントを開催します。

記念講演会

- 開催日：7月16日(日) ■講師：新谷式子氏（あべのハルカス美術館学芸員）
- 開催日：9月10日(日) ■講師：ペトル・ホリー氏（前チェコセンター所長・チェコ蔵主宰）

両日ともに ■時間：14:00～（約60分） ■会場：佐川美術館

※聴講無料。但し当日有効の入館券が必要です。席数に限りがございます。

ギャラリートーク

「コレクタートーク」

- 開催日：7月15日(土) ■時間：11:00～、14:00～（約60分）
- 講師：尾形寿行氏（OGATA コレクション所蔵者）

さがわきつずみゅーじあむ

「学芸員による中学生のためのミュシャ講座」

- 開催日：7月30日(日)・8月19日(土) ■時間：11:00～（約60分）
- 定員：先着15名 ■対象：中学生

【自由参加制ワークショップ】「ミュシャ風ポストカードをつくろう！」

- 開催日：8月2日(水)～8月4日(金) ■時間：10:00～15:00
- 対象：未就学児～ ■料金：無料 ※事前申込不要

【事前予約制ワークショップ】「ミュシャに挑戦！ステンドグラス風のミニうちわをつくろう！」

- 開催日：8月5日(土)・6日(日) ■時間：10:30～、14:00～（約90分）
 - 定員：各回15名 ■対象：6歳～中学生 ■料金：300円
- ※申込方法：7月4日(火)9:30から佐川美術館ホームページ申込フォーム、またはFAXにて受付開始。
詳細及び注意事項はホームページをご覧ください。

トワイライトコンサート

第一夜

- 開催日：8月26日(土) ■出演：溝口肇氏（チェリスト・作曲家・プロデューサー）

第二夜

- 開催日：9月9日(土) ■出演：かとうかなこ氏（クロマチック・アコーディオンプレイヤー）

両日ともに ■時間：17:30～（約60分） ■会場：樂吉左衛門館ホール

※入場制限をさせていただく場合がございます。

鑑賞ご希望の方は、前日までに必ず当館ホームページでご確認ください。

●広報用写真について

本プレスリリース中に使用している画像(No.1～5のみ)をご使用ください。ご使用につきましては、画像データをご用意しております。

ご希望の方はお手数ではございますが、同封の作品画像使用申込書(プレゼント用招待券申込付)に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。ホームページから画像申請も受け付けております。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会以外でのご使用はお断りしておりますので、宜しくお願い申し上げます。また、申込書に記載しておりますキャプションの表記もお願い致します。

●プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効のご招待券を10枚までご提供させていただきます。

ご希望の方は同封の作品画像使用申込書(プレゼント用招待券申込付)に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

◆交通のご案内:

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由 (約 30 分)
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由 (約 30 分)
- 名神京都東 IC から湖西道路 (真野 IC)・琵琶湖大橋経由 (約 30 分)

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス「佐川美術館」下車 (約 30 分)
- JR 湖西線堅田駅から路線バス「佐川美術館」下車 (約 15 分)

◆連絡先◆

公益財団法人佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

企画担当学芸員:馬場 まどか(ばば まどか)

m_baba004@sagawa-artmuseum.or.jp

アルフォンス ミュシャ展

— 麗しきアール・ヌーヴォー —

作品画像使用申込書

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810

申込日 2017 年 月 日

作品画像の露出・掲載等ご使用にあたっての注意	● 申請された方法、目的以外には使用しないでください ● 掲載誌・紙は資料として 1 部以上お送りくださいますよう、お願い致します ● その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください
使用作品	☐ 1. 《桜草》1899 年 OGATA コレクション ☐ 2. 《羽根》1899 年 OGATA コレクション ☐ 3. 《黄道十二宮 ラ・プリュム誌のカレンダー》1896 年 OZAWA コレクション ☐ 4. 《ジスモンダ》1895 年 OGATA コレクション ☐ 5. 《ココリコ》1902 年 OGATA コレクション ※ご希望の作品にチェックを入れてください。 ※作品画像使用の際は、キャプションの記入をお願いします。 計 _____ 枚
媒体名	
貴社名	
ご芳名（ご所属）	()
ご連絡先	ご住所：(〒 _____) e-mail: _____ TEL: _____ FAX: _____
発行（掲出）予定日	年 _____ 月 _____ 日 _____ 号
使用形態（○印）	Web サイト / 印刷物（カラー / モノクロ）
招待券希望枚数	読者プレゼント用として、招待券 _____ 枚 ※ 枚数は 10 枚以内でお願いいたします。ご了承ください。